

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

THIS PAGE BLANK (USPTO)

JP98/05522

09/501021

PCT/JP98/05522

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

07.12.98

EU

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1997年12月 8日

REC'D 29 JAN 1999

WIPO PCT

出 願 番 号

Application Number:

平成 9年特許願第337543号

出 願 人

Applicant (s):

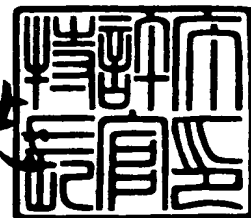
新日本製鐵株式会社

PRIORITY DOCUMENT

1999年 1月18日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

伴佐山 建志



出証番号 出証特平10-3105462

【書類名】 特許願

【整理番号】 97ES0080

【提出日】 平成 9年12月 8日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明の名称】 商品取引装置、商品取引システム、及び記憶媒体

【請求項の数】 8

【発明者】

【住所又は居所】 東京都千代田区大手町 2-6-3 新日本製鐵株式会社
内

【氏名】 竹熊 俊哉

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区虎ノ門 4丁目 1番 9号 虎ノ門石坂ビル 4階
ワイズシステム株式会社内

【氏名】 柴崎 太喜一

【特許出願人】

【識別番号】 000006655

【氏名又は名称】 新日本製鐵株式会社

【代理人】

【識別番号】 100090273

【弁理士】

【氏名又は名称】 國分 孝悦

【電話番号】 03-3590-8901

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 035493

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

特平 9-337543

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9707819

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品取引装置、商品取引システム、及び記憶媒体

【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、

複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理手段を備え、

上記取引処理手段は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定手段と、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定手段と、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行手段とを含むことを特徴とする請求項1記載の商品取引装置。

【請求項2】 上記第1の取引条件は、上記第2の取引条件より広範囲の条件であることを特徴とする請求項1記載の商品取引装置。

【請求項3】 上記販売情報は、下限価格情報を含むことを特徴とする請求項1記載の商品取引装置。

【請求項4】 各取引処理を実行するためのアイコン機能を有する表示手段を備えることを特徴とする請求項1記載の商品取引装置。

【請求項5】 上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる或いは減少するものであることを特徴とする請求項1記載の商品取引装置。

【請求項6】 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、請求項1～5の何れかに記載の商品取引装置であることを特徴とする商品取引システム。

【請求項7】 複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、

上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出し、

上記ホストは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理機能を有し、

上記取引処理機能は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定機能と、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定機能と、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行機能とを含むことを特徴とする商品取引システム。

【請求項8】 複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための処理ステップを実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記処理ステップは、

複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理ステップを含み、

上記取引処理ステップは、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定ステップと、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定ステップと、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行ステップとを含むことを特徴とする記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、例えば、花卉や青果物等のライフサイクルの短い生鮮商品や、有効期限のあるチケット等のサービス商品のように、ある期間が過ぎてしまうと商品価値がなくなる或いは減少する各種商品の売買取引に用いられる商品取引装置、商品取引システム、及び該取引を行うための処理ステップをコンピュータが読出

可能に格納した記憶媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

例えば、生花の売り買いの取引は、卸売市場で行われる。すなわち、買手業者は現場に出向き、売手業者が実際に販売している現物を観察し、どのような生花がいくらで販売されているか等を把握する。そして、希望する生花が販売されていた場合には、その売手と価格等を含めた取引を行う。このようにして、買手業者は、希望する生花を調達する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、従来では、上述したような生花等の商品の売買取引をシステム化したものはなかった。このため、次のような問題があった。

【0004】

(1) 商品の売買取引の流通が複雑化する。また、買手業者は、希望する商品を得るためには現場（卸売市場や卸売会社等）に実際に出向いて行く必要があり、このとき、希望する商品が販売されていればよいが、販売されていない場合は無駄になってしまう。特に、生花等のような商品は、気象や災害等の自然条件の影響を受けやすいものであるため、予定のものが予定通りに販売されない場合が多々ある。したがって、買手業者にとっては、場当たりの仕入れとなる場合が多く、調達計画を立てることができない。

【0005】

(2) 売手業者は卸売市場で商品の販売を行うが、その商品に買手がつくか、どのくらいの量を裁ききれるか等を事前に知ることができず、販売計画を立てることができない。また、裁ききれなかった商品（残商品）については、その他の販売手段に頼ることになるが、上述したような生花等の商品は、ある期間が過ぎてしまうと品質が低下してしまうため、荷受、競り準備、競り後の分荷によりダメージを受ける程、その分価格を下げる必要が出てくる。

【0006】

(3) 買手業者は、複数種類の商品を大量に希望するが多いが、実際に卸売

市場に出向いていかなければ、希望する商品が販売されているのか、また、それが大量に販売されているのか等を事前に知ることができない。このため、計画購入することができない。また、大量に商品を購入しようとする、その卸売市場の需要が逼迫し、自分で価格をつり上げることになる。

【0007】

(4) 売手業者は販売計画を立てることができないため、生産者側も生産計画を立てることができない。

【0008】

そこで、本発明は、上記の欠点を除去するために成されたもので、計画的な商品の生産及び販売、計画的な商品の調達を可能とすることで、効率的な商品の売買取引を可能とする商品取引装置、商品取引システム、及び該取引を行うための処理ステップをコンピュータが読出可能に格納した記憶媒体を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】

斯かる目的下において、第1の発明は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するシステムにおける上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置であって、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理手段を備え、上記取引処理手段は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定手段と、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定手段と、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行手段とを含むことを特徴とする。

【0010】

第2の発明は、上記第1の発明において、上記第1の取引条件は、上記第2の取引条件より広範囲の条件であることを特徴とする。

【0011】

第3の発明は、上記第1の発明において、上記販売情報は、下限価格情報を含むことを特徴とする。

【0012】

第4の発明は、上記第1の発明において、各取引処理を実行するためのアイコン機能を有する表示手段を備えることを特徴とする。

【0013】

第5の発明は、上記第1の発明において、上記商品は、商品毎に想定される期間経過後には価値がなくなる或いは減少するものであることを特徴とする。

【0014】

第6の発明は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記複数の端末装置の少なくとも1つの端末装置は、請求項1～5の何れかに記載の商品取引装置であることを特徴とする。

【0015】

第7の発明は、複数の端末装置とホストが相互通信することで、上記複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報から商品の売買の成約を決定する商品取引システムであって、上記端末装置は、送られてきた情報をブラウザ機能により画面表示し、その画面上の情報に基づいて行われたユーザからの操作に従って情報を出力し、上記ホストは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理機能を有し、上記取引処理機能は、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定機能と、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定機能と、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行機能とを含むことを特徴とする。

【0016】

第8の発明は、複数の端末装置から出力される商品の売買取引のための販売情報と購入情報情報に基づいて、商品の売買の成約を決定するための処理ステップ

を実行するプログラムを格納した記憶媒体であって、上記処理ステップは、複数の上記購入情報と複数の上記販売情報を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理を行う取引処理ステップを含み、上記取引処理ステップは、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第1の取引条件として特定する第1の特定ステップと、上記販売情報に含まれる商品に関する情報の任意の情報を第2の取引条件として特定する第2の特定ステップと、上記第2の取引条件に従った取引処理により発生した未成約商品の販売情報を上記第1の取引条件に従った取引処理に移行する処理移行ステップとを含むことを特徴とする。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態について図面を用いて説明する。

【0018】

本発明に係る商品取引システムは、例えば、図1に示すような生花取引システム100に適用される。

【0019】

生花取引システム100では、上記図1に示すように、生花の市場管理を行うサーバ側の端末装置101と、複数の売手業者側の端末装置111～114及び141、複数の買手業者側の端末装置121～123及び151、及び中卸業者側の端末装置131とが、WAN161を介して互いに通信可能に接続された構成としている。

【0020】

ここで、複数の売手業者の中には、大手業者（大手売手）や小口の業者（小口売手）も含まれており、また、複数の買手業者の中にも大手業者（大手買手）や小口の業者（小口買手）も含まれているものとする。

そして、サーバ側、売手業者側、買手業者側、及び中卸業者側の各端末装置は、例えば、中央処理装置（CPU）、キーボード、マウス、表示器、通信器、及び本システムの処理プログラムが予め格納されたメモリ等を備えたパーソナルコンピュータ（パソコン）からなり、該メモリの処理プログラムをCPUにより読

み出して実行することで、後述する種々の処理を行うようになされている。

【0021】

尚、サーバ側、売手業者側、買手業者側、及び中卸業者側の各端末装置は、本発明に係る商品取引装置を適用したものである。

また、ここでは、WAN161を介してのサーバ側と各業者側の接続構成としたが、これに限らず、ホストコンピュータと端末装置の接続構成でもよいし、サーバ側とクライアント側の接続構成でもよい。

さらに、複数の売手業者側の端末装置111～114、及び複数の買手業者側の端末装置121～123は個々に、WAN161を介してサーバ側と接続された構成としてもよい。

また、上記図1中の171～173は、生産者であり、大手売手業者111とは通信で接続されておらず、電話やファックス等で連絡するようになされている。

【0022】

上述のような生花取引システム100は、買手側から発生する情報に基づいた各業者間の取引（注文情報に基づいた取引）、売手側から発生する情報に基づいた、各業者間の取引（販売情報に基づいた取引）、及び複数の買手側から発生する注文情報と複数の売手側から発生する販売情報に基づいた複数の各業者間の取引（複数の注文情報と複数の販売情報に基づいた取引）を含む生花の売買取引を、生花取引システム100に加入している各業者（参加者）側の端末装置上で行うようになされている。

【0023】

そこで、まず、サーバ側の端末装置の内部構成、及び各業者側の端末装置の内部構成について、図2を用いて説明する。

【0024】

上記図2に示すように、サーバ側の端末装置は、情報受信配信機能と、種々の情報の受信及び送信（配信）を行うための情報受信配信機能と、アプリケーション機能（APP機能）としての取引処理及び価格形成機能、価格予想機能、システム運用管理機能、個人別マーケット分析機能、及び個人別データ配信管理機能

と、トランザクションデータやマスターデータを記憶すると共に各種処理に必要なデータを記憶するための記憶機能（データベースメモリ：DBM）とを有している。

取引処理及び価格形成機能とは、注文情報に基づいた取引、販売情報に基づいた取引、及び複数の注文情報と複数の販売情報に基づいた取引等、各種の取引処理を行うための機能である。

価格予想機能とは、詳細は後述するが、各業者間での取引において、取引対象となる生花の価格の変動を予測するための機能である。

システム運用管理機能とは、サーバ側の端末装置を運用して生花取引システム100を制御管理するための機能である。

個人別マーケット分析機能とは、参加者の登録を行うと共に、その参加者が実際に取引した日時、その取引後の取引状況、及び取引された生花についての情報（生花の種類や取引価格等）等、各参加者が行った取引に関する情報をDBMに記憶させ、その記憶情報を基に、例えば、取引される生花の季節別の傾向値、値段の高低、各参加者の今後の取引傾向（売買動向）等を分析するための機能である。

個人別データ配信管理機能とは、各参加者に対するデータ配信管理についてフィルタリングをかける機能であり、例えば、売手側や買手側の各参加者の業態（中卸や量販店等）、或いは商品の引き渡しの条件、或いは各参加者に提供されるサービスの内容等によって、配信データの全体或いは一部の表示を行ったり行わなかったりする機能、或いは上述の理由により各参加者側毎で表示される全体或いは一部の内容を変更させたりする機能である。

【0025】

一方、各業者側の端末装置は、種々の情報の受信及び配信を行う情報受信配信機能と、WWWブラウザ等によるユーザインターフェース（I/F）機能と、アプリケーション機能としての自己勘定管理機能及び連携機能と、トランザクションデータやマスターデータを記憶すると共に各種処理に必要なデータを記憶するための記憶機能とを有している。

自己勘定管理機能とは、先の取引により発生する支払いの管理等、参加者側で

処理する自己勘定を管理するための機能である。

連携機能とは、直属する小売店側のシステムや社内販売システムと連携して、先の取引についての情報を通知する等、参加者側に所属する側と連携可能とするための機能である。

【0026】

尚、ここでは、業者側の端末装置に自己勘定管理機能、連携機能、及び記憶機能を設けるようにしたが、これらの機能については、必ずしも業者側の端末装置に設ける必要はなく、業者側の端末装置に設ける代わりに、サーバ側の端末装置に設けるようにしてもよい。

【0027】

つぎに、生花取引システム100による各種処理の流れ、特に、(A)注文情報に基づいた取引処理、(B)販売情報に基づいた取引処理、及び(C)複数の注文情報と複数の販売情報に基づいた取引処理の流れについて説明する。

尚、(A)、(B)、及び(C)の各取引処理についての以下の説明では、例えば、買手業者と売手業者間の取引とする。

【0028】

ここで、各業者の端末装置には、例えば、インターフェース機能としてのWWWブラウザにより、サーバ側を介して送られてくる各種データが画面表示されるものとする。そして、端末装置の使用者が、画面上で操作することで、処理が進められるものとする。

そこで、ある業者が生花取引システム100を利用して、(A)、(B)、及び(C)の各取引処理等を行う場合、先ず、自端末装置でサーバ側にアクセスすることで、装置には、例えば、図3又は図4に示すようなトップ画面が表示される。

上記図3は、買手となる場合に表示されるトップ画面であり、「注文」、「予約」、「一般i」、「一般ii」、「成約・着荷」、「集統計」、「お知らせ」、「終了」等、各種項目が表示される。

一方、上記図4は、売手となる場合に表示されるトップ画面であり、「注文」、「予約」、「複写」、「一般」、「成約・着荷」、「集統計」、「お知らせ」

、「終了」等、各種項目が表示される。

尚、これらの表示は、アイコン機能と同様に、その文字部をクリックすると、その文字部に対応した処理が実行されるようになされている。ここでは文字表示としているが、これに限らず、絵柄等で表示するようにしてもよい。

そして、端末装置の利用者は、マウス等を用いて各項目を選択的に指定（クリック）する。これにより、このとき指定された項目に対応した処理が実行される。例えば、（Ａ）の取引を行う場合には「注文」の項目、（Ｂ）の取引を行う場合には「予約」の項目、（Ｃ）の取引を行う場合には「一般ｉ」又は「一般ｉｉ」、「或いは「一般」の項目を選択して指定する。

【００２９】

（Ａ）注文情報に基づいた取引処理

（第１の取引：注文情報に基づく予約相対取引）

本取引処理は、例えば、図５に示すような流れに従って実行される。

【００３０】

買手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図３）上で「注文」の項目を選択し指定する。これにより、装置は、注文情報入力可能状態となる。そして、買手業者は、調達（仕入）計画に従って、希望する購入日、生花の品目、品種、色、等階級、産地、総本数、及び価格等の購入希望情報である注文情報をキーボード入力する。この情報は、サーバ側に送られる。

この結果、例えば、図６に示すような注文情報一覧がサーバ側で作成され、買手業者側の端末装置で画面表示される。そして、この画面（注文情報一覧画面）上には、買手業者が入力した注文情報の他、“合計本数”、未選定合計本数”、及び”合計金額”等の情報も表示される。

尚、この”合計本数”、未選定合計本数”、及び”合計金額”等は、サーバ側で計算して得られ、端末装置に送信されて表示される。

このようにして、買手業者は、自端末装置上で調達（仕入）計画に従った生花の注文を行う。

【００３１】

売手業者は、自端末装置にて、買手業者が発した注文情報を画面上で参照する

ことで、販売（生産）計画に従って、買手業者が希望する生花を出荷可能であるか否かを判断し、出荷可能であれば、それを応募情報としてキーボード入力する。この応募情報は、サーバ側に送られる。

このようにして、売手業者は、買手業者が発した注文情報に対して、自端末装置上で応募する。

尚、売手業者は、買手業者が希望する総本数全てに対して応募することもでき、その一部に対して応募することもできる。或いは、買手業者が希望する総本数より多い本数を応募することもできる。

【0032】

買手業者は、自端末装置にて、上記図6に示した注文情報一覧を画面上で再度参照する。このときの注文情報一覧には、サーバ側により、売手業者が発した応募情報が反映されている。具体的には、例えば、注文情報一覧の”応募”欄には、注文情報に対して応募した売手業者の注文件数が表示されるようになされており、買手業者は、”応募”欄部分の隣の”応”のアイコン部をマウスで指定することで、注文情報に対して応募した売手業者の詳細情報が参照できるようになされている。

このような注文情報一覧画面を買手業者が参照することで、買手業者は、注文情報に対して応募した売手業者のなかから希望する売手業者を選択して予約し、それを発注情報としてキーボード入力する。この発注情報は、サーバ側に送られ登録される。

【0033】

そして、サーバ側にて、買手業者と売手業者の成約が成り立つと、サーバ側から売手業者側に対して成約通知が送られ、売手業者は、これを受け、買手業者との取引が確定したことを認識する。

尚、この成約通知を送らずに売手業者が自端末装置にて、例えば、成約情報一覧を画面上で参照することで、買手業者の取引が確定したことを認識するようにしてもよい。

【0034】

このとき、買手業者側の上記図6に示した注文情報一覧には、この成約が”未

選定”欄に反映される。例えば、ある希望する生花の希望総本数が100本であり、この成約で100本全て確定した場合、未成約本数である未選定本数は0本となる。また、100本のうち40本が確定した場合、未選定本数は60本となる。また、売手業者が応募した本数が、希望する総本数より多い場合には、未選定本数はマイナス本数（-60本等）となる。

尚、ここでは、未選定数のマイナス表示を許すようになされている。

【0035】

(B) 販売情報に基づいた取引処理

(第2の取引：販売情報に基づく予約相対取引)

本取引処理は、例えば、図7(B)に示すような流れに従って実行される。

【0036】

売手業者は、自端末装置のトップ画面(上記図4)上で「予約」の項目を選択し指定する。これにより、装置は、販売情報入力可能状態とな。そして、売手業者は、希望する生花の品目、品種、色、着荷日、等階級、産地、生産者名、箱数、及び価格等の販売希望情報である販売情報(出荷情報)をキーボード入力する。

この結果、例えば、図8に示すような出荷情報一覧が作成され、画面表示される。そして、このような販売情報は、サーバ側に送られる。

このようにして、売手業者は、自端末装置上で生花の販売を行う。

【0037】

買手業者は、自端末装置にて、例えば、図9に示すような、売手業者が発した販売情報を画面上で希望商品を検索し参照することで、希望する品の箱数等を購入登録情報としてキーボード入力する。このとき、希望する箱数の一部の登録も行うことができる。例えば、出荷情報の残箱数が50箱であり、買手業者が本来希望する箱数は20箱であるが、そのうちの10箱のみを登録することもできる。そして、このような購入登録情報は、サーバ側に送られる。

このようにして、買手業者は、売手業者が発した出荷情報に対して、自端末装置上で購入登録する(タイプ1)。

【0038】

売手業者は、自端末装置にて、買手業者の登録状況を画面上で参照して判断し、買手業者と成約する。

【0039】

尚、買手業者側において、上述したような購入登録を行う際（タイプ1）、購入価格の指定を行って、これを購入登録情報とすることもできる（タイプ2）。

この場合、例えば、売手業者側の端末装置において、複数の買手業者から指定された各購入価格に基づいて、適切な買手業者、例えば、最も購入価格の高い買手業者を自動的に決定するようなアルゴリズムを実行させるようにしてもよい。

また、販売情報で残数10箱に対し、買手業者は、購入登録情報として、例えば、6箱とし、且つ、6箱以下でも購入する旨の情報を登録することもできる。これにより、残数10箱に対して、甲乙2名の買手業者が各々6箱の購入登録しても、甲が6箱以下でも購入するという情報であれば、乙に6箱、甲に4箱、という成約も可能となる。

【0040】

（C）複数の購入情報及び複数の販売情報に基づいた取引処理

（第3の取引：複数の購入情報と複数の販売情報を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引）

本取引処理は、例えば、上記図7（C）に示すような流れに従って実行される。

【0041】

ここで、本取引処理は、2つの取引処理（C1の取引処理、C2の取引処理とする）に分けられ、これらの2つの取引処理が、買手となる場合のトップ画面（上記図3）の「一般i」と「一般ii」に対応する。そして、C1の取引処理とC2の取引処理は、例えば、買手業者が上述したような購入登録する際に、詳細は後述するが、売手業者側が発した販売情報に対して行う購入登録の方法が異なる。

【0042】

そこで、売手業者は、上述した（B）の取引処理の結果、販売情報として発した数量を全て裁ききれなかった場合、具体的には、ある生花を100箱、販売希

望したにも関わらず、そのうちの60箱しか買手業者と成約できなかった場合、40箱が残ってしまう。

このような販売漏れの生花（未成約の生花）がある場合には、売手業者は、自端末装置にて、未成約の生花を検索し、その情報を得て、トップ画面（上記図4）の「複写」項目を選択し指定することで、販売漏れの生花、すなわち（B）の取引処理での生花のうち販売漏れの生花についてを、本取引処理に移行する。

そして、売手業者は、販売漏れの生花について、（B）の取引処理と同様にして、販売情報をキーボード入力する。また、このとき、新規に販売希望する生花があれば、それについての販売情報も入力する。このときに、下限価格情報（販売下限価格値）も入力する。そして、このような販売情報は、サーバ側に送られる。

また、他の売手業者も同様にして各々、自端末装置にて、販売希望する生花の販売情報を入力する。そして、各売手業者の販売情報も、サーバ側に送られる。

したがって、サーバ側には、複数の売手業者の販売情報が存在することになる。このとき、サーバ側に販売情報が複写された後に生じた販売状況の変化に応じて、売手業者が自端末装置の画面を見ながら、販売情報の追加や削除等を行ってもよい。

尚、トップ画面（上記図4）の「複写」による処理についての詳細は後述する。

【0043】

買手業者は、自端末装置にて、複数の売手業者が発した販売情報を画面上にて参照し、希望する条件に合った販売情報に対して、（B）の取引処理と同様にして、購入登録するが、このとき、上述のC1の取引処理、或いは、C2の取引処理で購入登録する。

すなわち、C1の取引処理で購入登録する場合、買手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図3）上で「一般i」を選択し指定する。これにより、装置は、上述のように、複数の売手業者が発した販売情報の参照可能状態となり、購入登録可能状態となる。ここでの購入登録は、例えば、希望する生花の”品目”及び”色”のみの条件（第1の取引条件）を特定できるようになされている。

一方、C2の取引処理で購入登録する場合、買手業者は、自端末装置のトップ画面（上記図3）上で「一般ii」を選択し指定する。これにより、装置は、C1の取引処理と同様に、複数の売手業者が発した販売情報の参照可能状態となり、購入登録可能状態となるが、ここでの購入登録は、例えば、希望する生花の”品目”及び”色”のみならず、”品種”や”等階級”等、その他の詳細な条件（第2の取引条件）を特定できるようになされている。また、買手業者は、このような詳細な条件を複数の販売情報に対して特定できるようになされている。

そして、このような購入登録情報は、サーバ側に送られる。

また、他の買手業者も同様にして各々、自端末装置にて、複数の売手業者が発した販売情報を参照して、C1或いはC2の取引処理で購入登録する。

したがって、サーバ側には、複数の売手業者が発した販売情報と、複数の買手業者が発した購入登録情報とが存在することになる。

【0044】

サーバ側では、所定の成約決定アルゴリズムによる所定の成約決定処理により、複数の売手業者が発した販売情報と、複数の買手業者が発した購入登録情報とに対して、双方の条件の折り合うものから順次成約（価格）を決定する。

尚、ここでの成約決定アルゴリズムは、例えば、販売下限価格の条件を満たし、且つ、購入価格の高い順、購入情報の入力時間の早い順等により成約を決定するものである。

この成約決定についての情報は、売手業者側及び買手業者側に通知される。

これにより、売手業者及び買手業者は各々、自端末装置にて、成約決定について認識する。

【0045】

ところで、この生花取引システム100では、上述のような（C）の取引処理において、C2の取引処理（品目や色と共に種類等の条件も特定）の結果、未成約の購入情報については、買手業者側の自端末装置での操作により、その購入情報にて条件を緩和して（品目や色のみの条件を特定）、C1の取引処理に移行することもでき、これを自動的に行うこともできる。

【0046】

具体的には、例えば、図10に示すように、先ず、上述したように、(B)の取引処理の結果、未成約の生花については、売手業者側からトップ画面（上記図4）の「複写」項目が選択され指定されることで、(C)の取引処理に移行される。例えば、C2の取引処理に移行される。これにより、(B)の取引処理での未成約の販売情報が、C2の取引処理での販売情報として登録される。また、このとき、新規に販売希望する生花があれば、その販売情報もC2の取引処理での販売情報として登録される。

【0047】

次に、買手業者が自端末装置上で、C2の取引処理での販売情報として登録された未成約の販売情報を参照して、希望する生花があれば、その購入情報を登録する。

これにより、サーバ側において、それらの販売情報と購入情報を突き合わせ、双方の条件が折り合った場合には成約決定とされ、折り合わなかった場合には未成約とされる。そして、その結果は売手業者側及び買手業者側に通知される。

買手業者側は、サーバ側からの通知により、登録した購入情報が未成約であった場合、自端末装置にて、販売情報の条件を緩和して（品目や色のみの条件を特定）、その購入情報をC1の取引処理に移行する。

これにより、このときの購入情報は、C1の取引処理での購入情報として登録され、C1の取引処理で処理される。

【0048】

ここで、このようなC1の取引処理からC2の取引処理への移行を自動的に行いたい場合、買手業者側は、購入情報の登録時に、自端末装置にて、登録した購入情報がC2の取引処理で未成約であったならばC1の取引処理に自動移行するための設定を行う。例えば、図11に示すように、買手業者は、C2の取引処理時の画面上にて、マウス等により、購入情報毎に対応して設けられたアイコン部を指定（クリック）することで、自動移行の設定を行う。この設定情報は、サーバ側に送られる。

これにより、サーバ側で自動移行の設定が認識され、売手業者側の販売情報と、買手業者側の購入情報の双方の条件が折り合った場合には、上述したように成

約決定とされ、逆に、双方の条件が折り合わなかった場合には、その購入情報は未成約とされて、C1の取引処理での購入情報として自動的に登録され、C1の取引処理で処理される。

【0049】

上述のような自動移行の設定により、買手業者は、C2の取引処理と、C1の取引処理とを1度の操作で行うことができる。

【0050】

また、この生花取引システム100は、例えば、上述したC2の取引処理の結果、大量の販売情報が未成約で残ってしまった場合、サーバ側が買手業者側と売手業者側に介入して取引を行うこともできるようになされている。

【0051】

すなわち、図12に示すように、サーバ側（市場運営者等）は、自端末装置にて、C1の取引処理の結果を参照する。例えば、サーバ側は、図13に示すように、自端末装置の画面上にて、マウス等により、「成約検索」や「未成約検索」等のアイコンを指定（クリック）する等の操作を行うことで、成約した販売情報や未成約の販売情報の一覧画面を出力させ、この画面上の情報により、C1の取引処理の結果を把握する。そして、未成約の販売情報に含まれる各種情報を調整し、成約率を上げて確定させるようにする。

このとき、未成約の販売情報に含まれる下限価格の調整を行った場合、その調整を行った販売情報を再度C1及びC2の取引処理での販売情報として登録する。したがって、下限価格が調整された販売情報は、上述したようにしてC1の取引処理から順にC2の取引処理で処理される。

【0052】

尚、下限価格が調整された販売情報を再度C1及びC2の取引処理で処理する場合、この結果は、仮成約又は未成約となる。

【0053】

以上、生花取引システム100による（A）、（B）、及び（C）の各取引処理の流れについて説明した。

【0054】

つぎに、上述したサーバ側の端末装置が有する”価格予想機能”について具体的に説明する。

【0055】

この価格予測機能とは、上述したような（A）、（B）、及び（C）等の各取引において、取引対象となる生花の価格の変動を予測するための機能であり、この機能により、市場運用（管理）者は、自端末装置（サーバ側の端末装置）上で価格を容易に予測することができる。

【0056】

すなわち、図14に示すように、サーバ側の端末装置において、記憶機能（DBM）には、個人別マーケット分析機能により種々のデータが記憶されると共に、取引時に発生した各種データが記憶される。

このDBMに記憶された各種データを多変量解析処理等により解析し、その解析結果からモデルを生成する。そして、生成したモデルにより、そのときの市場状況に対する価格の変動等を予測する。

このような価格予測は、生花の品目毎や季節等の予測条件に応じて行えるようになされている。

【0057】

つぎに、上述したトップ画面（上記図4）の「複写」による処理について具体的に説明する。

【0058】

「複写」による処理（複写処理）は、上述したように、売手側において、（B）の取引処理の結果、販売漏れがあった場合に行われる処理であり、この複写処理を実行することで、（B）の取引処理が（C）の取引処理に移行される。

【0059】

すなわち、図15に示すように、（B）の取引処理の結果、成約された生花（成約出荷商品）と、未成約となった生花（未成約出荷商品）とが発生する。このときの商品の価格（販売価格）を”x”、下限価格（最低希望価格）を”y”とする。これらの成約出荷商品及び未成約出荷商品の各情報は、サーバ側の端末装置に送られ、そのDBMに記憶される。

【0060】

売手側は、自端装置にて、サーバ側のDBMの記憶情報から生成された、例えば、図16に示すような、未成約出荷一覧の画面を参照することで、複写処理を実行するか否かを判断し、上記図4に示した画面の「複写」を選択し指定する。そして、売手側は、複写する商品を個別に選択し、複写するものを指定する。

尚、このとき、未成約商品を全て一括して指定できるようにしてもよい。

また、売手側は、販売価格 x を販売価格 x' ($x \neq x'$)、下限価格 y を下限価格 y' ($y \neq y'$) に各々変更する指定も行うことができる。

これにより、サーバ側のDBMに記憶された不成立出荷商品の情報は、価格変更も含めて、(C)の取引処理での商品の情報とされる。

また、このとき、売手側が新たに商品の登録(新規登録)を、販売価格 x_1' 、下限価格を y_1' として行った場合には、これらの情報も含めて、(C)の取引処理での商品の情報とされる。

【0061】

そして、売手側は、自端末装置にて、例えば、図17に示すような販売情報一覧画面により、(C)の取引処理に移行した商品、新規登録した商品、及びそれらの情報を登録した日(情報登録日)を確認する。

【0062】

つぎに、生花取引システム100で行える他の処理として、集統計処理について説明する。

【0063】

この集統計処理は、売手側の端末装置において、上記図4に示したトップ画面の「集統計」の項目が選択され指定されたときに実行される処理である。

すなわち、売手側は、自端末装置にて、トップ画面の「集統計」の項目を選択し指定する。これにより、装置には、例えば、図18に示すような集統計情報表示一覧画面が表示される。この集統計情報表示一覧画面には、今後発生する予定の取引(既に決定している取引)についての情報、具体的には、先渡し(荷渡し)の日付、生花の平均価格、最高価格、最低価格、及び総本数等の情報を含む。これらの情報は、画面上で日付け、品目、品種等の条件を指定することで、指定

された条件毎の情報を表示することもできる。

このような画面により、売手側は今後の予定を把握することができる。また、同様に買手側も、自端末装置にて、トップ画面（上記図3）の「集統計」の項目を指定し、種々の条件を指定することで、買手側の今後の予定を把握することができる。

【0064】

尚、本発明の目的は、上述した実施の形態のサーバ及び端末の機能を実現するソフトウェアのプログラムコードを記憶した記憶媒体を、システム或いは装置に供給し、そのシステム或いは装置のコンピュータ（又はCPUやMPU等）が記憶媒体に格納されたプログラムコードを読みだして実行することによっても、達成されることは言うまでもない。

この場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が上述した実施の形態の機能を実現することとなり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することとなる。

【0065】

プログラムコードを供給するための記憶媒体としては、ROM、フロッピーディスク、ハードディスク、光ディスク、光磁気ディスク、CD-ROM、CD-R、磁気テープ、不揮発性のメモリカード等を用いることができる。

【0066】

また、コンピュータが読みだしたプログラムコードを実行することにより、上述した実施の形態の機能が実現されるだけでなく、そのプログラムコードの指示に基づき、コンピュータ上で稼動しているOS等が実際の処理の一部又は全部を行い、その処理によって実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0067】

さらに、記憶媒体から読み出されたプログラムコードが、コンピュータに挿入された拡張機能ボードやコンピュータに接続された機能拡張ユニットに備わるメモリに書き込まれた後、そのプログラムコードの指示に基づき、その機能拡張ボードや機能拡張ユニットに備わるCPUなどが実際の処理の一部又は全部を行い

、その処理によって上述した実施の形態の機能が実現される場合も含まれることは言うまでもない。

【0068】

【発明の効果】

以上説明したように本発明によれば、所謂先渡し取引をネットワーク上で可能にし、今迄にない販売及び調達の手機を売手側及び買手側に与えることができるようになるため、従来にない効率的な商品取引ができる。

具体的には、商品の売買の取引をシステム化して、複数の購入情報（買手側が調達希望する商品の品目や種類、価格等）と複数の販売情報（売手側が販売希望する商品の品目や種類、価格等）を同時に双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引処理を、端末装置の画面上で行えるようにした。

また、買手側は、複数の売手が発した販売情報に対して、それに含まれる情報のうち任意の情報を第1又は第2の取引条件として特定できるようにした。例えば、品目のみを第2の取引条件として特定（厳密な特定）、或いは、品目と共に種類までを第1の取引条件として特定（第2の特定条件よりも広範囲な特定）できるようにした。

そして、第2の取引条件に従った取引処理で未成約であった販売情報を、自動的に第1の取引条件に従った取引処理に移行し、再度その取引処理で処理できるようにした。

このような構成とすることで、少なくとも次のような効果が得られる。

【0069】

（1）買手側は、卸売市場等に出向く必要がなく、自端末装置にて、希望する商品が販売されているか等を容易に把握することができ、希望する商品を容易に仕入れることができる。また、事前にこれを行うことができる。これにより、調達計画を立てることができる。

【0070】

（2）売手側は、自端末装置にて、販売する商品に買手がつくか、どのくらいの量を販売できるか等を事前に把握することができる。これにより、販売計画を立てることができるため、無駄な商品の発生も抑えることができ、特に、ある期間

を過ぎると価値が無くなる生花等においては、その商品の鮮度保持も可能となる。

【0071】

(3) 買手側は、自端末装置にて、大量の商品を希望する場合であっても、容易に品揃えすることができる。

【0072】

(4) 売手側は、販売計画を立てることができるため、生産者側もそれに従って、生産計画を立てることができる。

【0073】

(5) 商品の出荷前に売手側と買手側間でその商品を取引を行うことができる。

【0074】

(6) 希望する商品を厳密に条件付けた購入と、その条件範囲を広げた購入とを1度の操作で行うこともできる。これにより、成約率を向上させることができ、取引効率も飛躍的に向上させることができる。

【0075】

したがって、本発明によれば、計画的な商品の生産及び販売を行うことができ、また、計画的な商品の調達も行うことができ、これにより、効率的な商品の売買取引を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明に係る商品取引システムを適用した生花取引システムの構成を示すブロック図である。

【図2】

上記生花取引システムの各業者側及びサーバ側の端末装置の内部構成を示すブロック図である。

【図3】

買手側のトップ画面を説明するための図である。

【図4】

売手側のトップ画面を説明するための図である。

【図5】

注文情報に基づく予約相対取引処理を説明するための図である。

【図6】

上記取引処理において、注文情報一覧画面を説明するための図である。

【図7】

販売情報に基づく予約相対取引処理を説明するための図である。

【図8】

上記取引処理において、販売（出荷）情報一覧画面を説明するための図である。

【図9】

上記取引処理において、売手側が発した販売情報の画面を説明するための図である。

【図10】

取引処理の移行を説明するための図である。

【図11】

上記移行処理において、買手側の画面上での設定を説明するための図である。

【図12】

上記移行処理後に発生した未成約の販売情報に対してサーバ側が行う処理を説明するための図である。

【図13】

上記サーバ側の画面上での操作を説明するための図である。

【図14】

販売価格予測機能を説明するための図である。

【図15】

複写処理を説明するための図である。

【図16】

上記複写処理において、未成約出荷一覧画面を説明するための図である。

【図17】

上記複写処理において、販売情報一覧画面を説明するための図である。

【図18】

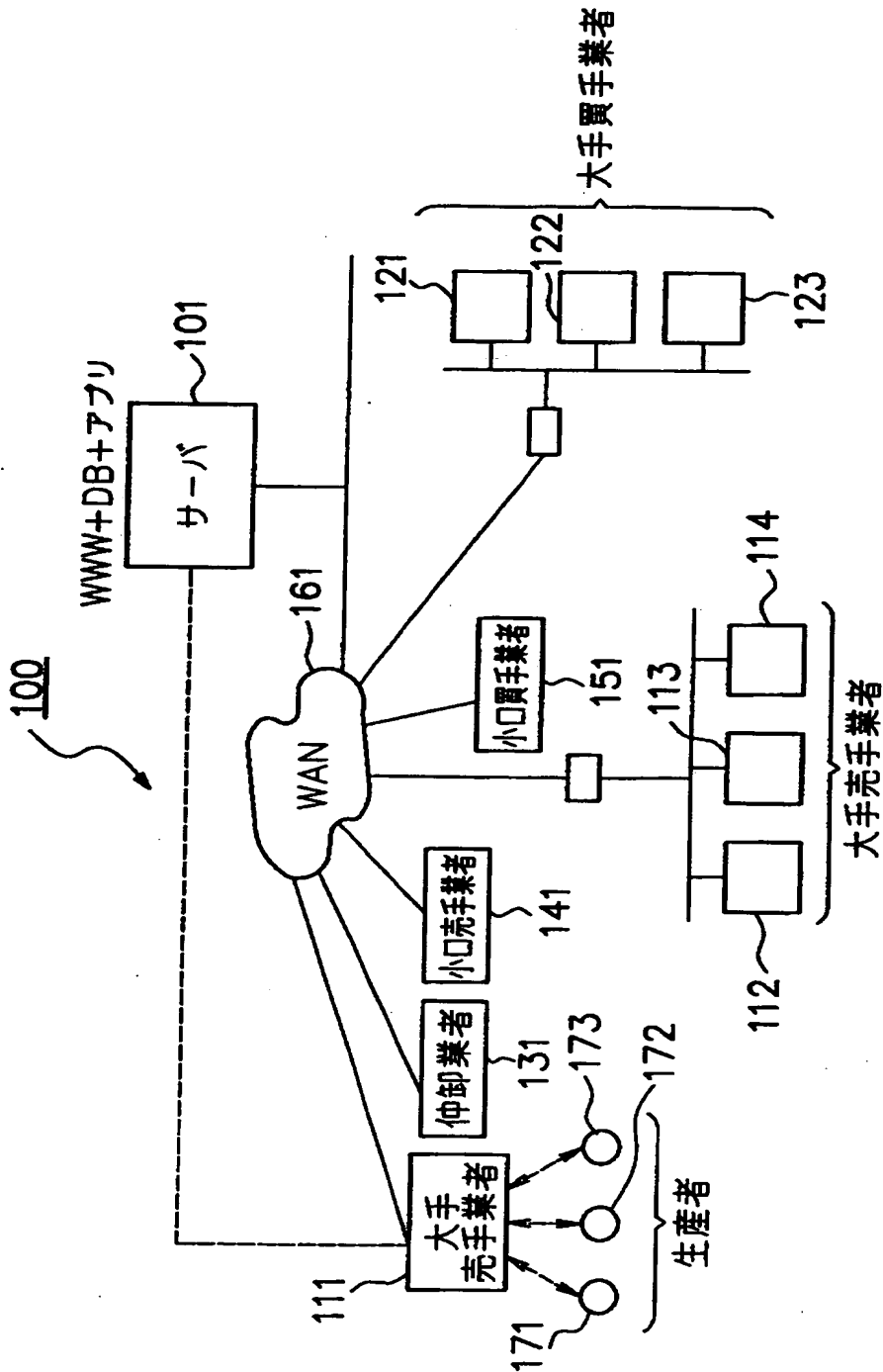
集統計処理において、集統計情報表示一覧画面を説明するための図である。

【符号の説明】

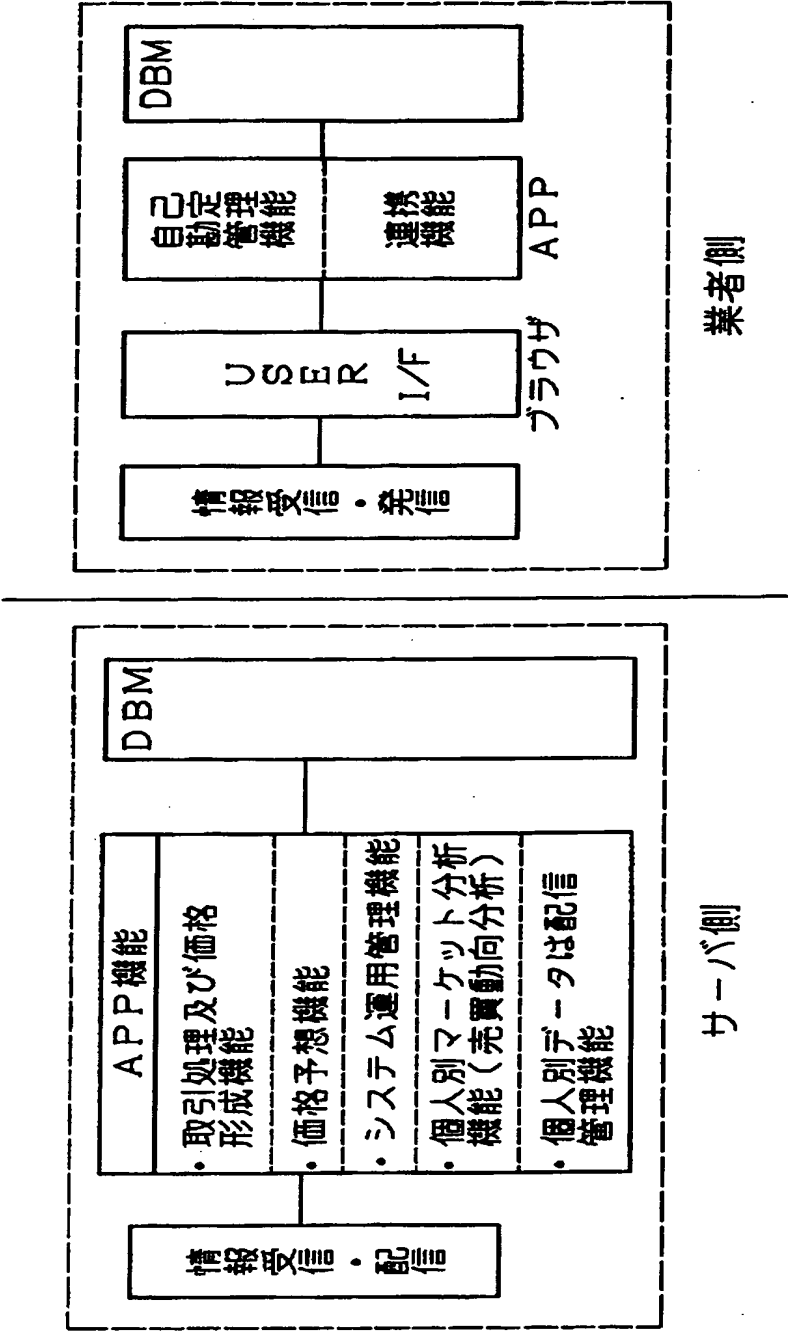
- 100 生花取引システム
- 101 サーバ側の端末装置
- 111～114 大手売手業者側の端末装置
- 121～123 大手買手業者側の端末装置
- 131 中卸業者側の端末装置
- 141 小口売手業者側の端末装置
- 151 小口買手業者側の端末装置
- 161 WAN
- 171～173 生産者

【書類名】 図面

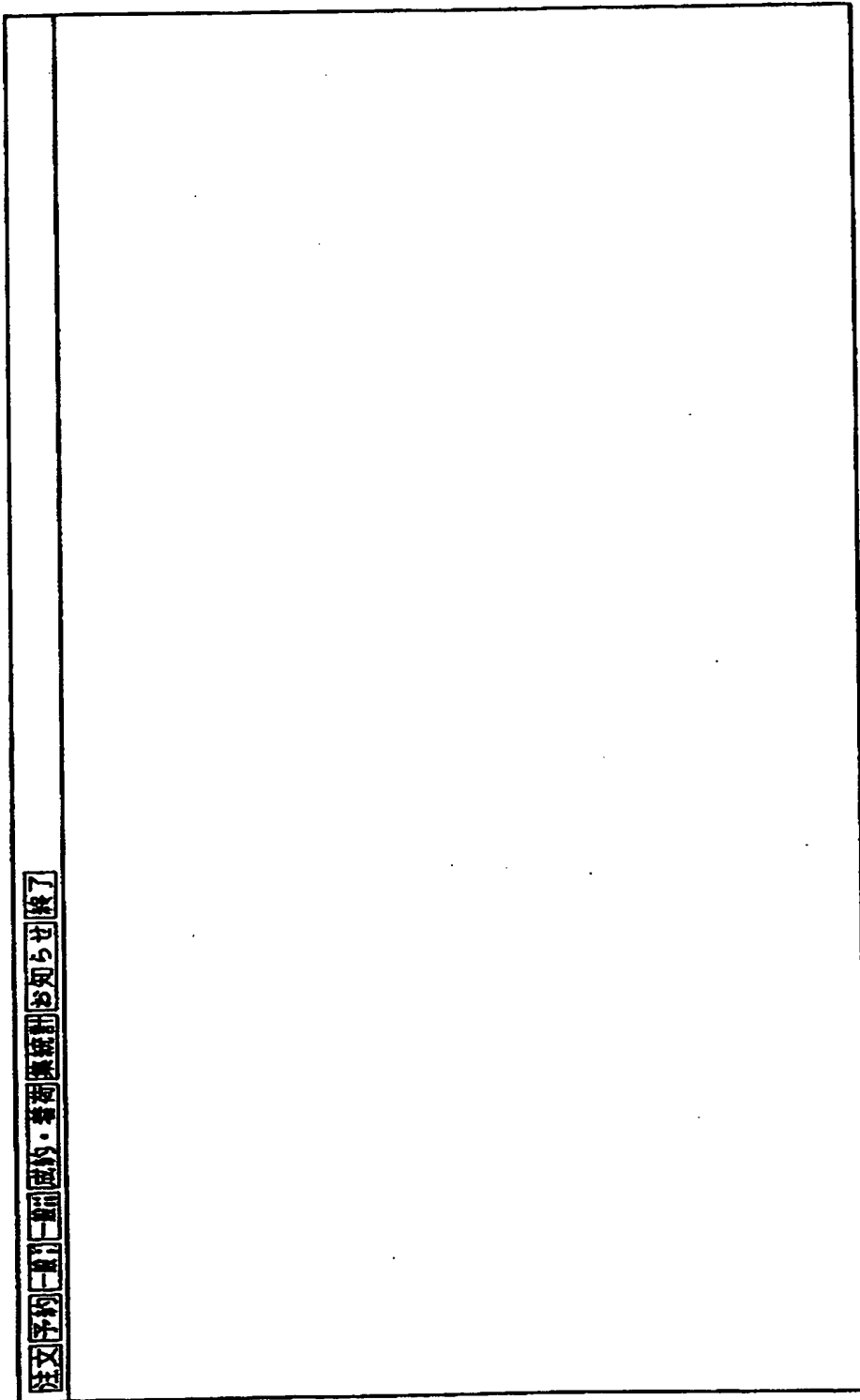
【図1】



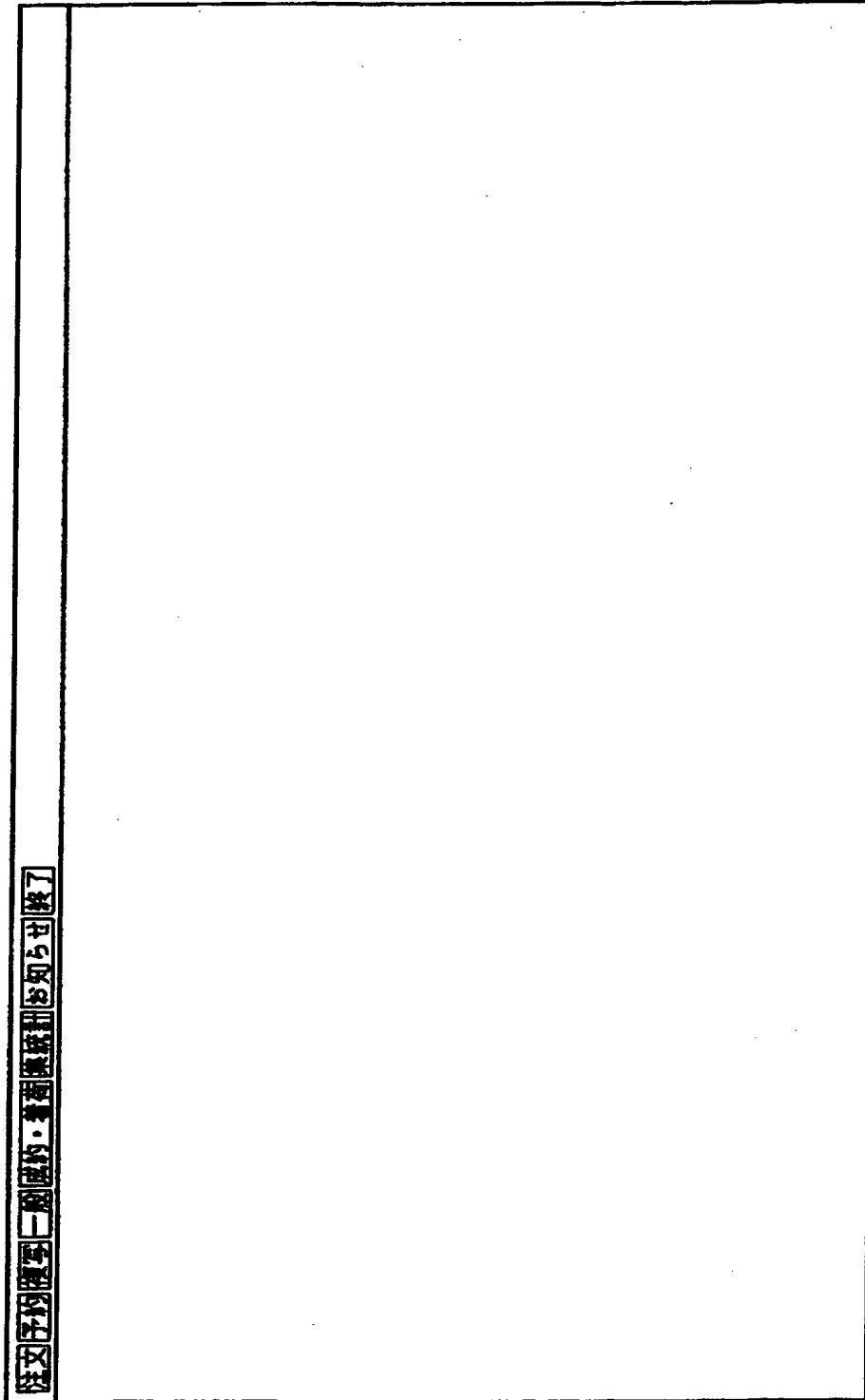
【図2】



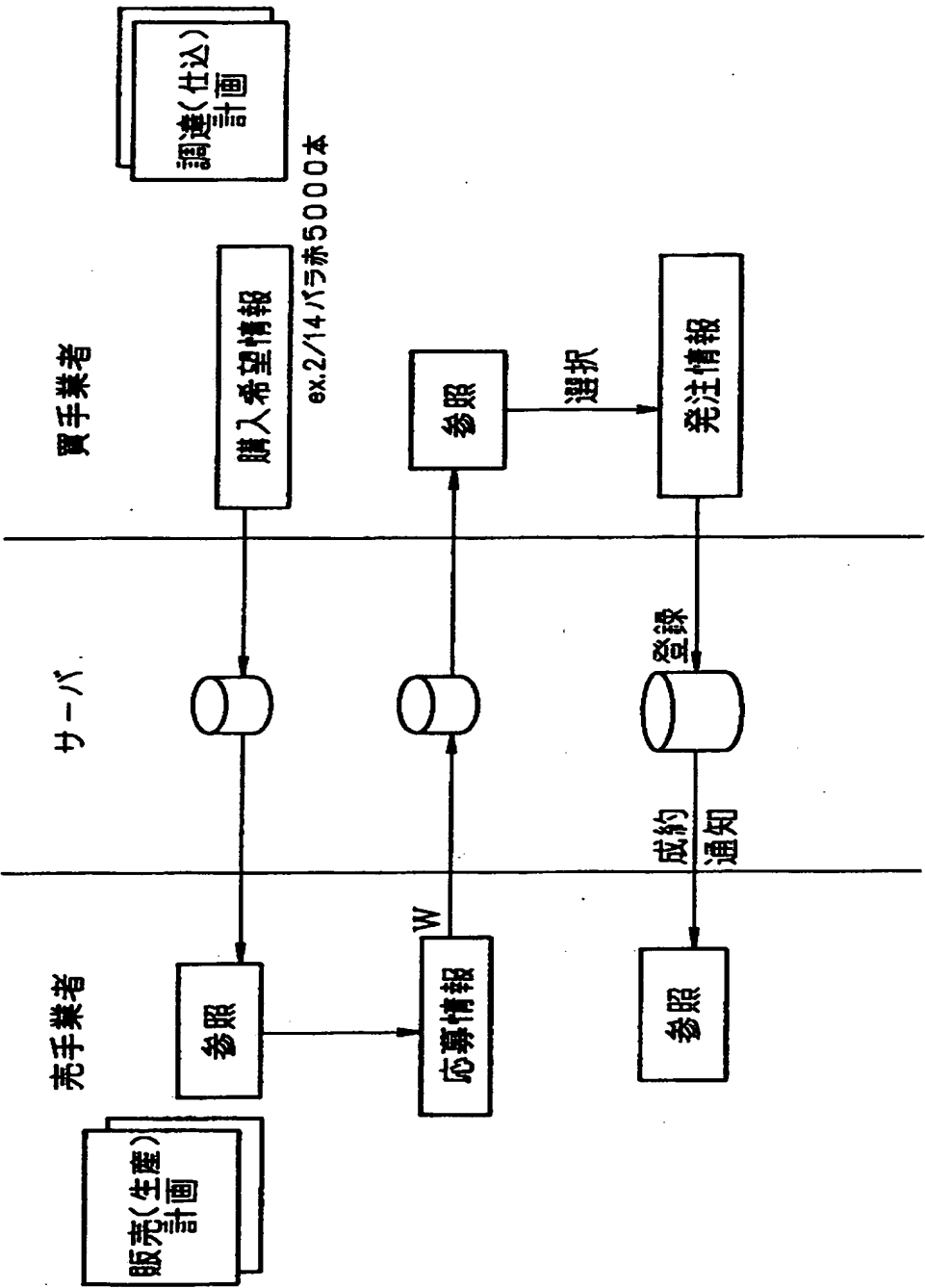
【図3】



【図4】



【図5】



【図6】

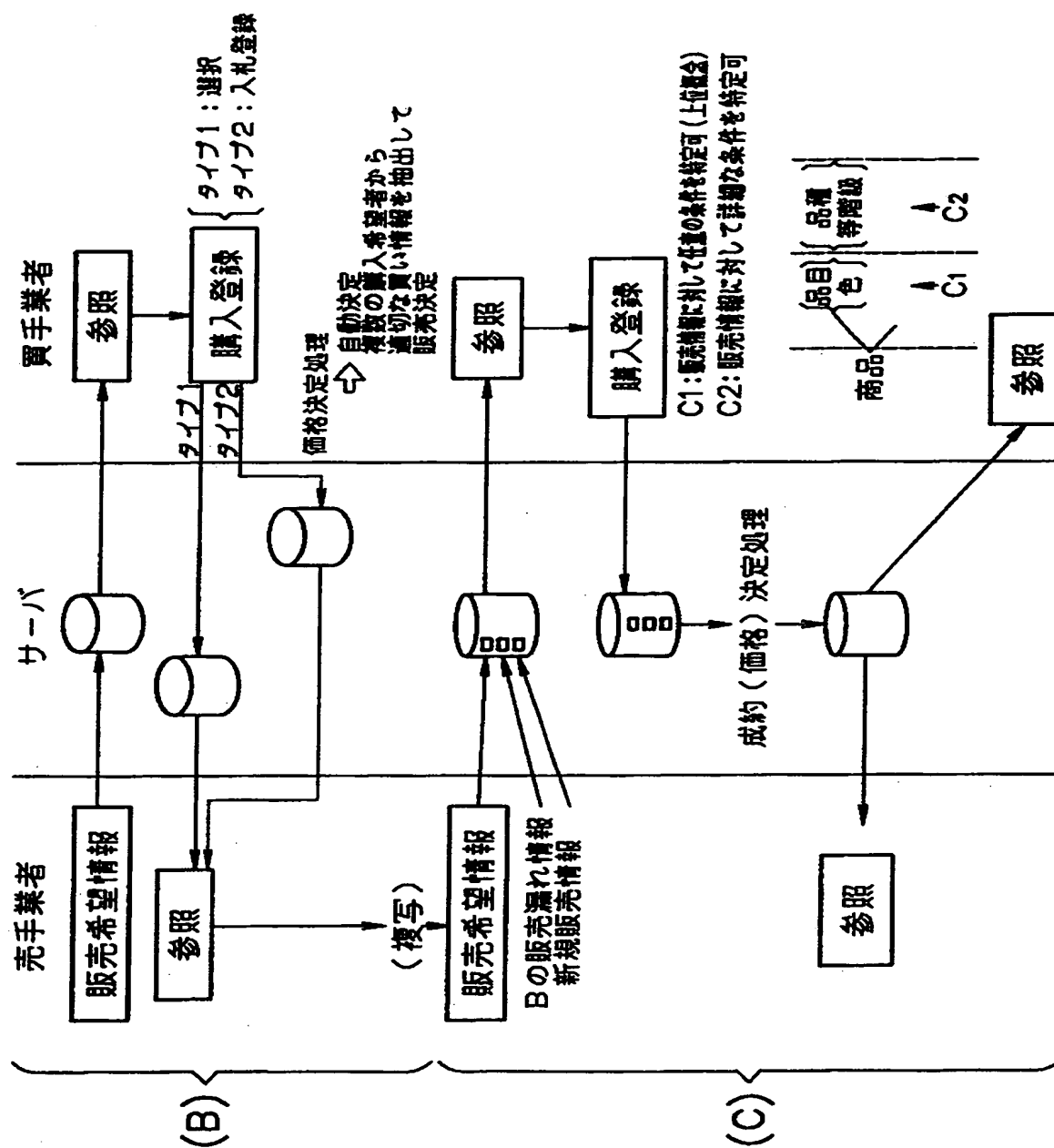
69件披露しました。1-20を提示しています。合計本数：3,103,680本 未調査合計本数：2,959,740本 合計金額 309,985,900円

選	着荷日	品目	品種	色	等級	産地	形状	箱入数	箱重量	箱容積	単位	数量	比率	切前	切付	切日	注文番号	備考
1	97/07/28	ガーベラ スタンダード	リズム ガーベラ(肌色)	オレンジ	2L	愛知県	特級	100	100	100	本	23	0			97/07/28	0000002575	
2	97/07/28	キク 小菊	コギク (シロ)	白	特級	茨城県	特級	200	200	200	本	30	0			97/07/28	0000002521	
3	97/07/28	キク 小菊	コギク (キイロ・クリーム)	黄	特級	茨城県	特級	600	600	600	本	35	0			97/07/28	0000002388	
4	97/07/28	キク 小菊	コギク [ソタ]	その他	特級	茨城県	特級	400	400	400	本	30	0			97/07/28	0000002394	
5	97/07/28	キク 大輪	精盤	白	秀し	愛知県	秀し	1200	1200	1200	本	50	0			97/07/28	0000002524	
6	97/07/28	スターチス	ソピア	複色	特し	長野県	特し	100	100	100	本	40	0			97/07/28	0000002366	
7	97/07/28	スターチス	クリスタルイエローチース	黄	秀し	北海道	秀し	200	200	200	本	45	0			97/07/28	0000002338	
8	97/07/28	スターチス	フラッシュピンクスターチス	ピンク	秀し		秀し	300	300	300	本	45	0			97/07/28	0000002343	
9	97/07/28	ソリダゴ				長野県	A L	140	140	140	本	25	0			97/07/28	0000002558	
10	97/07/28	ダイアンサス 撫子	ヨウキヒ	ピンク	2L	北海道	2L	100	100	100	本	30	0			97/07/28	0000002301	
11	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの波	複色ブルー	A 2L	岩手県	A 2L	20	20	20	本	180	0			97/07/28	0000002386	
12	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あずまの旗	黄	A 2L	岩手県	A 2L	30	30	30	本	150	0			97/07/28	0000002384	
13	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あすかの遠	複色ブルー	2L	長野県	2L	180	180	180	本	140	0			97/07/28	0000002439	
14	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あすかの粧	複色ピンク	2L	長野県	2L	60	60	60	本	180	0			97/07/28	0000002432	
15	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あすかの粧	複色ピンク	L	長野県	L	150	150	150	本	100	0			97/07/28	0000002443	
16	97/07/28	トルコギキョウ 一重	あすかの飾	複色ピンク	2L	長野県	2L	20	20	20	本	180	0			97/07/28	0000002436	
17	97/07/28	バラ スプレー	ブライドインジヨイ	オレンジ	L	愛知県	L	100	100	100	本	50	0			97/07/28	0000002288	
18	97/07/28	バラ スプレー	ファンタジースプレーバラ	淡ピンク	M	愛知県	M	100	100	100	本	50	0			97/07/28	0000002282	
19	97/07/28	フリージア 一重	アラジン	黄	秀し	北海道	秀し	200	200	200	本	40	0			97/07/28	0000002305	
20	97/08/04	ガーベラ スタンダード	シャンパーニー	ピンク	2L	愛知県	2L	300	300	300	本	28	0			97/08/02	0000002673	

新規定 条件取消 検索

特平 9-337543

【図7】



特平 9-337543

【図8】

出荷情報一覧画面

18件検索しました。1-18を表示しています。合計本数: 121,550本 合計金額: 77,820,000円 残合計本数: 117,840本 残合計金額: 64,462,500円

新規・変更 << < > >> 印刷

出荷日	品目	品名	色	等級	産地	生産者名	人数	箱数	個数	単位	希望	am	e
97/09/01	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	100	100	本	100	99	
97/09/01	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	100	100	本	100	99	
97/09/01	デルフィニウム ベラドンナ系	ベラドンナ フォルカーフリーデン	濃ブルー	秀	岩手県		100	100	100	本	100	100	
97/09/02	カーネーション スプレー	バーバラ ライトピンクバーバ	淡ピンク	秀	北海道		100	100	100	本	100	100	
97/09/02	キク 大輪	精霊	白	秀	北海道		100	100	100	本	100	100	
97/10/10	シュッコンアスター 孔雀アスター	ブラスベリ	白	秀	北海道		100	100	100	本	100	100	
97/10/10	スターチス ハイブリッド	ミステリー ブルー	紫	秀	宮崎県		100	100	100	本	100	100	3
97/10/10	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	北海道		100	100	100	本	100	99	1
97/10/31	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	岩手県		100	100	100	本	100	100	2
97/10/31	ヒマワリ	サンリッチ オレンジ	オレンジ	秀	岩手県		100	100	100	本	100	100	2
97/12/01	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	100	100	本	200	100	2
97/12/02	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	100	100	本	85	80	
97/12/02	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀2L	愛知県		100	100	100	本	90	80	
97/12/02	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀2L	和歌山県		100	100	100	本	65	120	80
97/12/02	デルフィニウム ベラドンナ系	ベラドンナ フォルカーフリーデン	濃ブルー	秀2L	北海道		100	100	100	本	70	80	
97/12/02	ヒマワリ	サンリッチ レモン	未定	秀	北海道		100	100	100	本	150	80	
97/12/03	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	岩手県		100	100	100	本	50	80	
97/12/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	100	100	本	95	80	
97/12/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	秀2L	愛知県		100	100	100	本	100	80	

出荷情報検索画面

検索 条件取消 新規

○出荷日 ~ ○情報登録日
○品目 ○品種

【図9】

注文 予約 一般 一般 成約 通商 集談社 お知らせ 終了

出荷/在庫管理一覧画面

3件検索しました。1-3を表示しています。 総合計本数: 38,000本

通商日	品目	品名	色	等級	発着地	産地	生産者名	入数	補数	列補数	単位	希望 Y cm
97/12/01	パラスタンダード	ローチローゼ (=アサミレッド)	赤 赤2L			静岡県		80	20	20	本	180 70
97/12/15	カーネーションスプレー	カサブラシカ	赤 赤4L			愛知県		100	800	300	本	80 100
97/12/15	キク大輪菊	秋の友	白 秀			福岡県		100	100	80	本	180 100

検索

条件取消

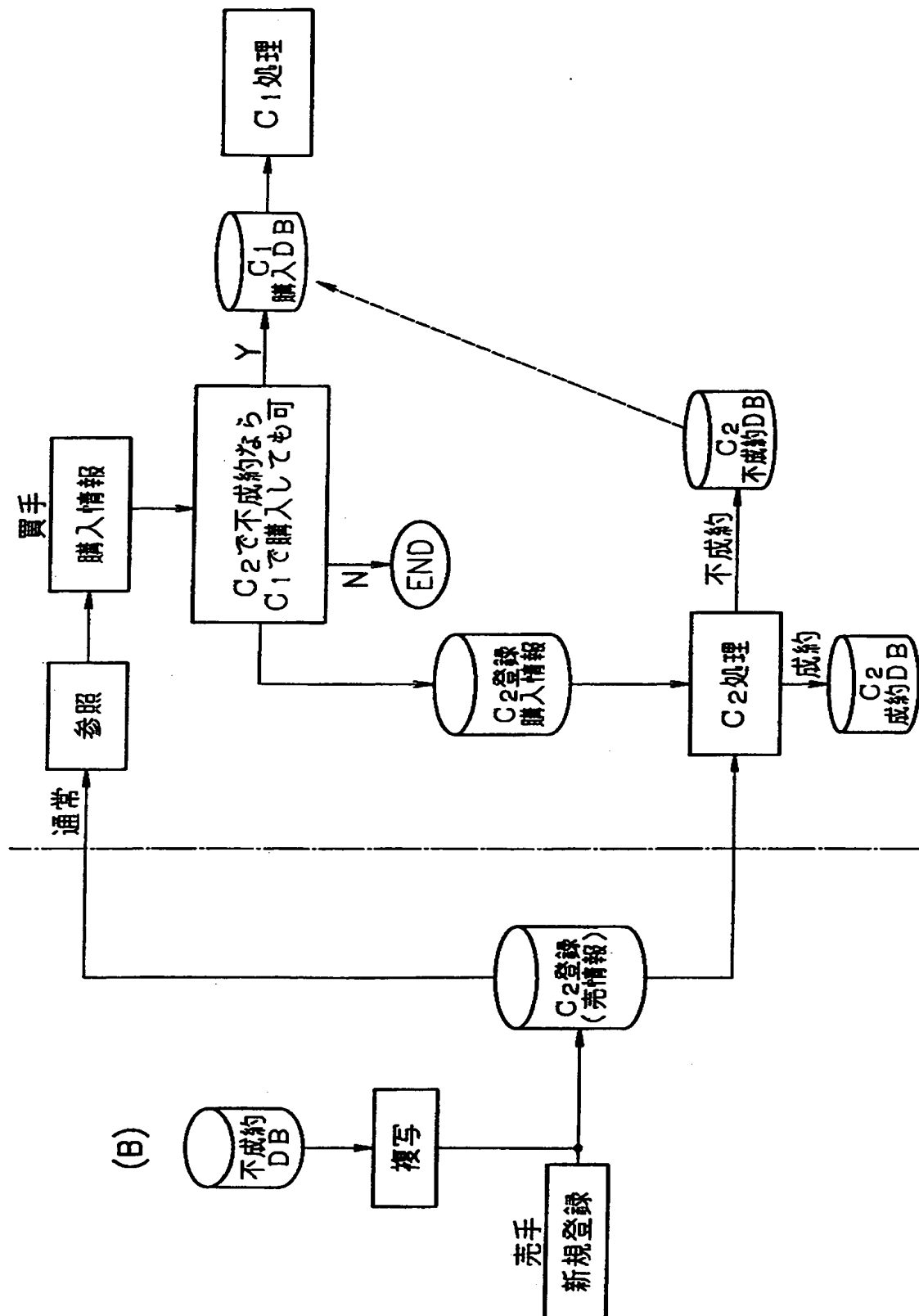
出荷/在庫管理詳細画面

○出荷日 [] ~ []

○品目 [] ○品種 [] ○色 []

○生産者等階級 [] ○規格(cm) [] ○産地 []

【図10】

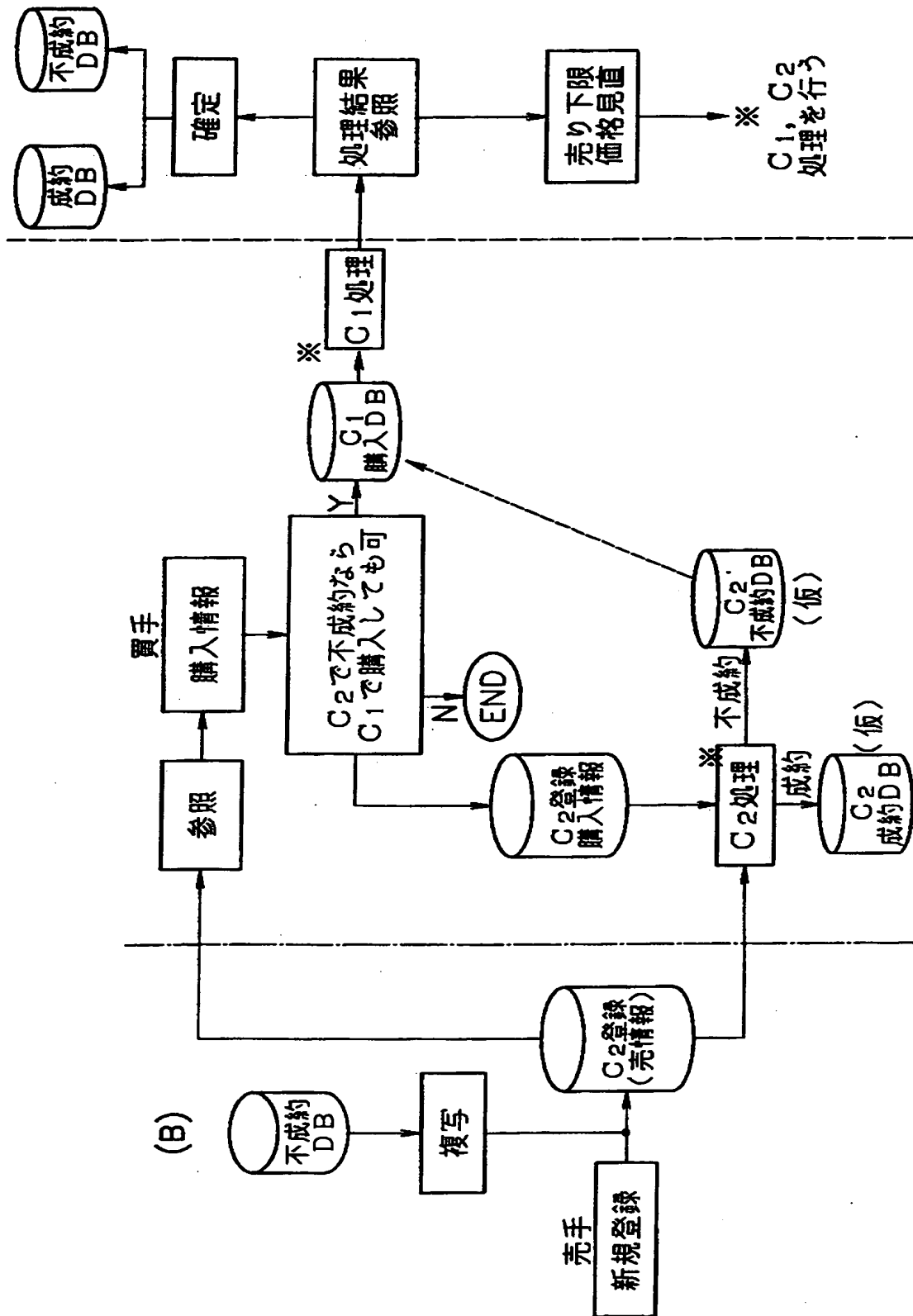


【図11】

C2購入登録			
購入情報	Ⓐ	本数	<input type="checkbox"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="checkbox"/>

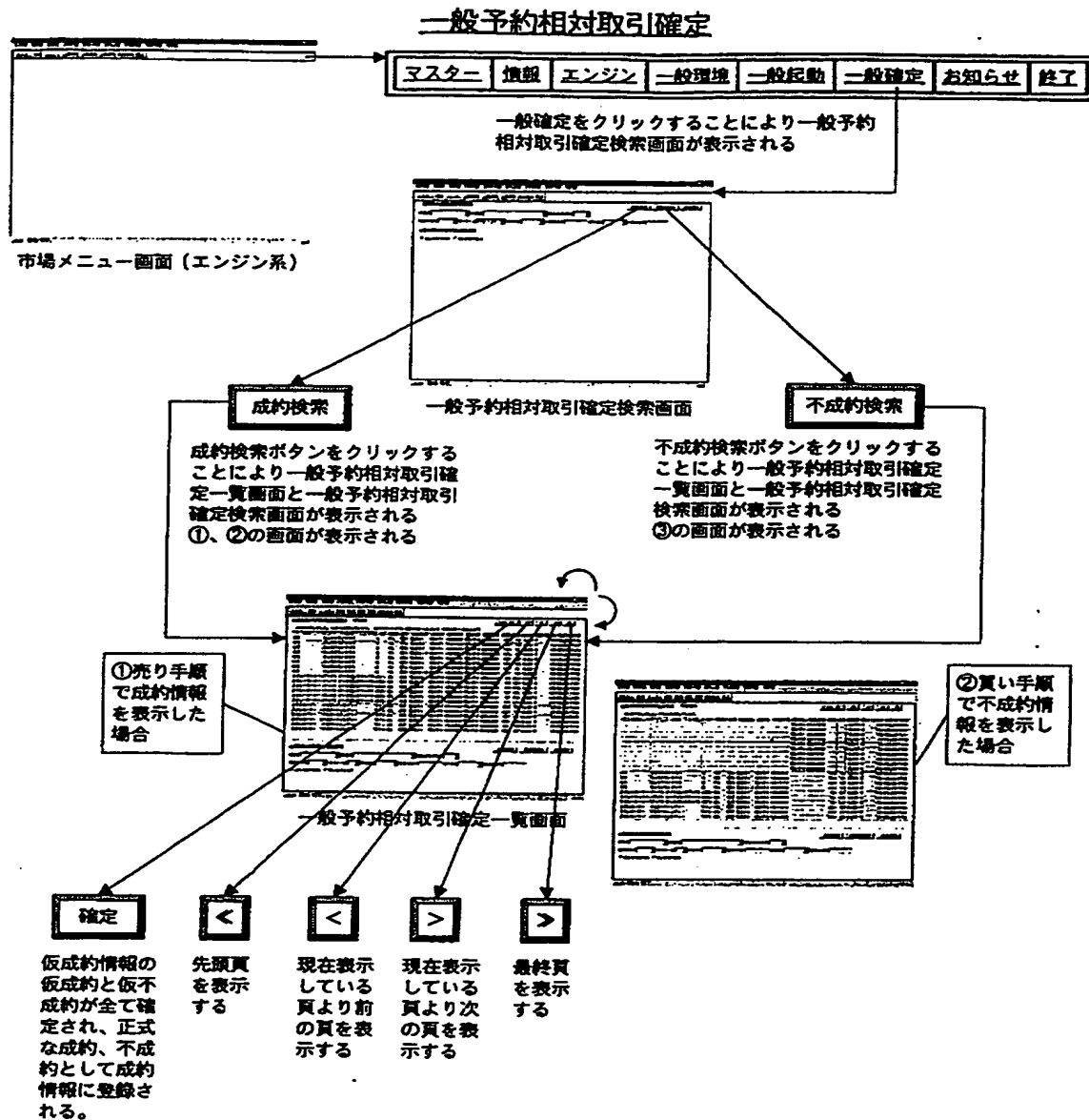
C1取引を行う場合は、「✓」点をつける

【図12】

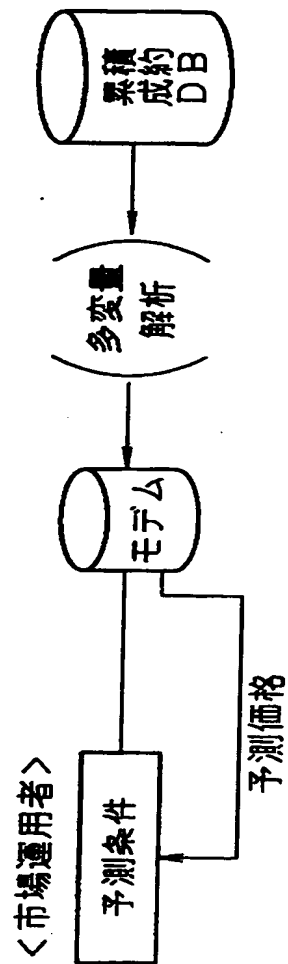


特平 9-337543

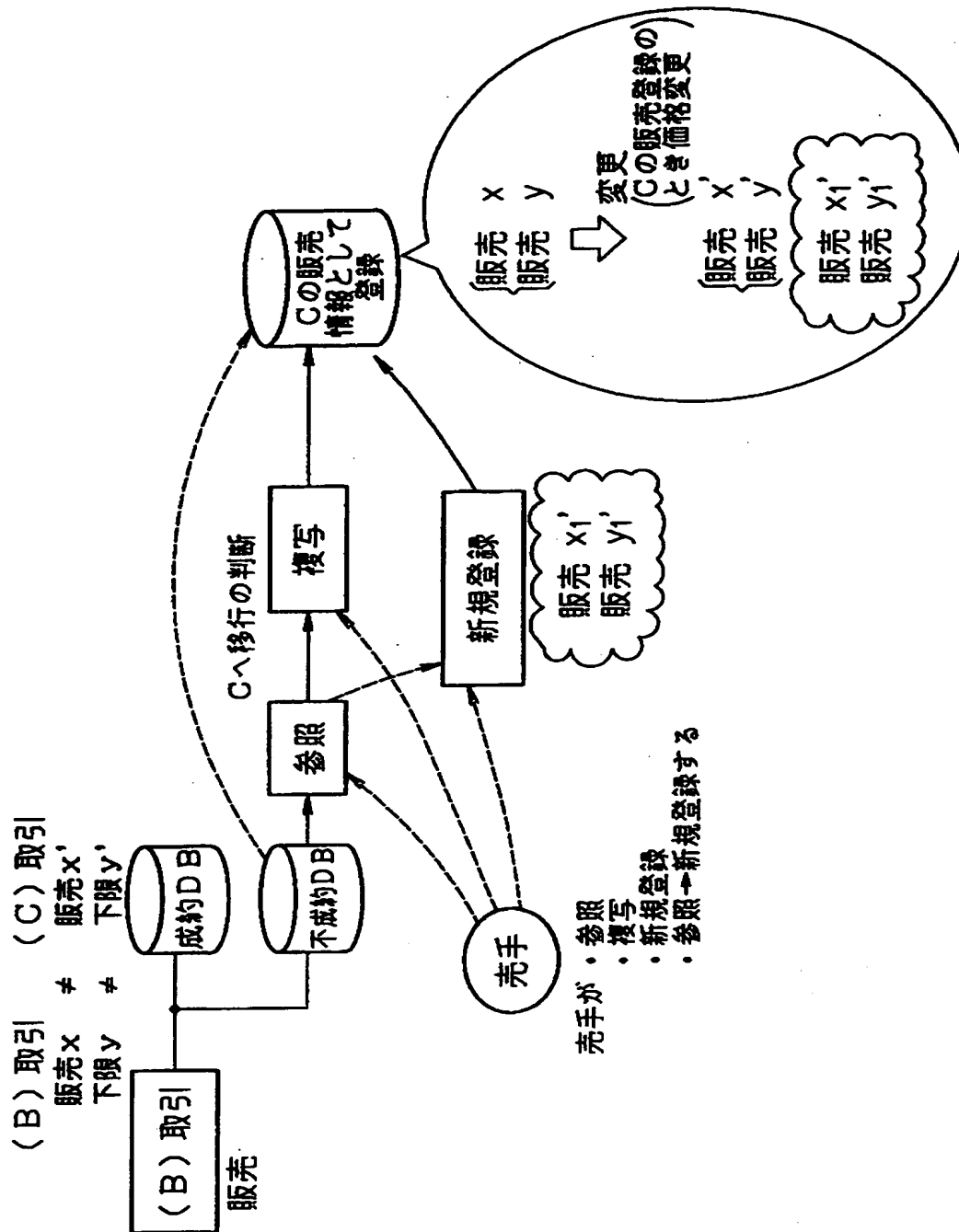
【図13】



【図14】



【図15】



【図16】

不成就出荷情報一覧画面

72件検索しました。61-72を表示しています。合計本数: 102,150本 合計金額: 128,203,380円 残合計本数: 78,080本 残合計金額: 124,749,830円

検索 << < > >>

選	着荷日	品目	品種	色	等級	産地	生産者名	入数	箱数	箱単位	希望寸	cm	g	積付	切前	出荷番号	備考
□	97/07/28	ユリ 鉄砲百合	希(のぞみ)チンポウユリ	白	L	長野県		100	10	本	525	100	1	1	1	0000000024	一輪
□	97/07/28	ユリ 鉄砲百合	希(のぞみ)チンポウユリ	白	2L	長野県		100	15	本	380	100	1	1	1	0000000025	
□	97/08/04	キク スプレー菊	アルプス	白	1級	愛知県		100	3	本	60	90				0000002288	
□	97/08/04	キク スプレー菊	トウアーマリン SPギク	ピンク	特級	愛知県		100	3	本	80	90				0000002271	
□	97/08/04	キク スプレー菊	トウアーマリン SPギク	ピンク	1級	愛知県		100	3	本	65	90				0000002273	
□	97/08/04	キク 大輪	精露	白	秀L	愛知県		200	30	本	170	90				0000002245	
□	97/08/04	キク 大輪	精露	白	秀M	愛知県		200	30	本	65	90				0000002249	
□	97/08/04	キク 大輪	精露	白	1級	長野県		100	30	本	70	90				0000002254	
□	97/08/04	キク 大輪	精露	白	2級	長野県		100	30	本	50	90				0000002258	
□	97/08/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	特級	長野県		100	30	本	70	90				0000002259	
□	97/08/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	1級	長野県		100	30	本	60	90				0000002281	
□	97/08/04	キク 大輪	サマーイエロー	黄	2級	長野県		100	50	本	65	90				0000002282	

検索 条件取消

不成就出荷情報検索画面

出荷日 ○情報登録日
 品目 ○品種 ○色
 生産者等級 ○規格(cm) ○生産者名 ○出荷番号

特平 9 - 3 3 7 5 4 3

【図 1 7】

販売情報一覧画面

30件検索しました。21-30を表示しています。合計本数: 90,400本 合計金額: 7,479,500円

新規・変更 < > 削除

選	着荷日	品目	品名	色	等級	産地	生産者名	人数	箱数	総本数	単位	希望	下限	cm	g	備付	切前
1	97/08/08	キク 大輪	精露	白	秀	北海道		100	100	10,000	本	100	50	100			
2	97/08/08	キク スプレー菊	アルプス	白	秀	北海道		100	50	5,000	本	150	100	100			
3	97/08/08	キク スプレー	翠玉	グリーン	1級	愛知県		100	11	1,100	本	85	65	90			
4	97/08/08	キク スプレー菊	ハイキング	黄	特級	愛知県		100	3	300	本	80	80	90			
5	97/08/08	バラ	ノブレス	未定	特級	長野県		100	27	2,700	本	70	70	80			
6	97/08/08	バラ	ノブレス	未定	1級	愛知県		100	32	3,200	本	80	60	90			
7	97/08/08	キク スプレー	翠玉	グリーン	1級	愛知県		100	11	1,100	本	85	65	90			
8	97/08/08	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	5	500	本	100	100	100			
9	97/08/08	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀	北海道		100	5	500	本	100	100	100			
10	97/08/08	スターチス	シニョアータ (ムラサキ・ウスムラサキ)	紫	秀4L	北海道		100	100	10,000	本	100	100	100			

販売情報検索画面

検索 条件取消 新規

○着荷日 ○情報登録日
 ○品目 ○品種 ○色
 ○生産者等級 ○規格(cm) ○生産者名 ○下限値 ○販売番号

【図18】

注文 予約 注文 二段 成約 取引 集約 統計 お知らせ 終了											
集約 統計 集約 表示 一覧 画面											
集約 統計 開始 日: 97/11/1											
日付	平均価格	最高価格	最低価格	総本数	日付	平均価格	最高価格	最低価格	総本数	日付	平均価格
97/11/01	0	0	0	0	97/11/17	0	0	0	0	97/11/17	0
97/11/02	0	0	0	0	97/11/18	0	0	0	0	97/11/18	0
97/11/03	0	0	0	0	97/11/19	0	0	0	0	97/11/19	0
97/11/04	0	0	0	0	97/11/20	0	0	0	0	97/11/20	0
97/11/05	0	0	0	0	97/11/21	0	0	0	0	97/11/21	0
97/11/06	0	0	0	0	97/11/22	0	0	0	0	97/11/22	0
97/11/07	0	0	0	0	97/11/23	0	0	0	0	97/11/23	0
97/11/08	0	0	0	0	97/11/24	0	0	0	0	97/11/24	0
97/11/09	0	0	0	0	97/11/25	0	0	0	0	97/11/25	0
97/11/10	0	0	0	0	97/11/26	0	0	0	0	97/11/26	0
97/11/11	0	0	0	0	97/11/27	0	0	0	0	97/11/27	0
97/11/12	115	123	100	1,270	97/11/28	0	0	0	0	97/11/28	0
97/11/13	0	0	0	0	97/11/29	0	0	0	0	97/11/29	0
97/11/14	0	0	0	0	97/11/30	0	0	0	0	97/11/30	0
97/11/15	0	0	0	0	97/12/01	0	0	0	0	97/12/01	0
97/11/16	0	0	0	0							

検索 条件取消

集約 統計 集約 表示 一覧 画面

● 取引日 97 年 11 月 1 日
 品目 中々 大橋町
 ○ 生産者 特約 級
 ○ 品種
 ○ 産地
 ● 表示形態 表
 ● 表示区分 日別

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 計画的な商品の生産及び販売、計画的な商品の調達を可能とすることで、効率的な商品の売買取引を可能とする商品取引システムを提供する。

【解決手段】 複数の購入情報（買手側が発する情報）と、複数の販売情報（売手側が発する情報）を突き合わせて、双方の条件の折り合うものから順次成約決定する取引の処理とを実行可能とする。このとき、第2の取引条件（商品を厳密に特定した条件）に従った取引処理で不成約であった販売情報を、自動的に第1の取引条件（第2の取引条件より広範囲の条件）に従った取引処理に移行し、再度その取引処理で処理する。

【選択図】 図1

【書類名】 職権訂正データ
【訂正書類】 特許願

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】 000006655

【住所又は居所】 東京都千代田区大手町2丁目6番3号

【氏名又は名称】 新日本製鐵株式会社

【代理人】 申請人

【識別番号】 100090273

【住所又は居所】 東京都豊島区東池袋1丁目17番8号 池袋TGホ
ーメストビル5階 國分特許事務所

【氏名又は名称】 國分 孝悦

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000006655]

1. 変更年月日 1990年 8月10日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都千代田区大手町2丁目6番3号

氏 名 新日本製鐵株式会社